

平成21年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成21年7月17日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	23210
政策名(章)	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします	評価担当局	市民局
基本施策名(節名)	第2節 安心して暮らせるまちづくり	施策所管課	交通・地域安全課
施策名	交通事故のないまちづくり	課長名	大貫 雅巳

1 施策の目的

道路や交通安全施設の整備充実に努めるとともに、関係機関等との連携により、地域が一丸となって交通安全意識の高揚を図るなど、交通事故の防止に向けた交通安全対策を推進し、市民を交通事故から守る。

2 施策の概要

市内の交通事故件数は、平成12年をピークに減少に転じてきている。本市の交通事故の特徴としては、自転車や高齢者が関係する交通事故の割合が高いという特徴がある。

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	76,458	70,928	
人件費	22,621	21,011	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	108	100	

* 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

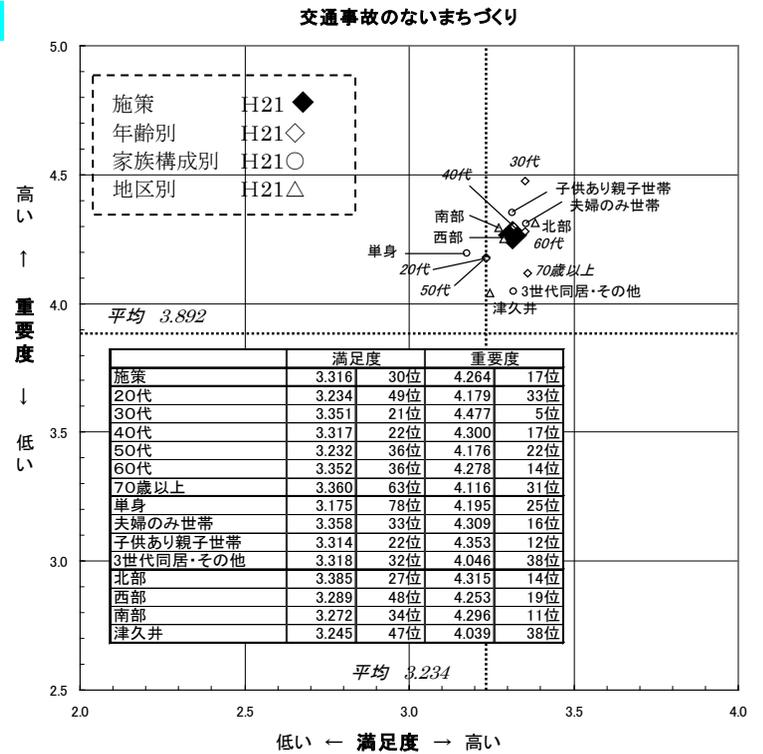
4 成果・活動指標

順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
1	指標1 交通事故発生件数	交通事故発生件数(H17交通事故発生件数:5,388件)	基準値に対し、毎年5%の減を目標とする。
2	指標2 人口千人当たり交通事故発生件数	交通事故発生件数/人口×1,000(H17交通事故発生件数:5,388件/H17.1.1人口:697,586人)	指標1の交通事故発生件数に対応する人口1000人当たりの事故発生件数。
3	指標3 全事故に占める自転車事故率	自転車事故発生件数/全交通事故発生件数×100(H17自転車事故発生件数:1,620件/H17交通事故発生件数:5,388件)	神奈川県自転車事故多発地域の基準である全交通事故に占める自転車事故の割合25%未満を目標とする。
4	指標4 高齢者関係事故発生件数	高齢者関係事故件数(H17高齢者関係交通事故発生件数:921件)	基準値に対し、毎年5%の減を目標とする。
5	指標5 高齢者人口1万人当たり事故発生件数	高齢者関係事故件数÷高齢者人口×10,000(H17高齢者関係交通事故発生件数:921件/H17.1.1高齢者人口:99,469人)	指標4の高齢者関係事故発生件数に対応する人口10000人当たりの事故発生件数。

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:件)	H17	5,388	4,862	4,741	4,618	3,980	4,387		4,167	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		51,342	1.74	67,165	2.45	60,832	2.05			
指標2 (単位:件)	H17	7.7	7.0	6.7	6.6	5.6	6.3		6.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		-	-	-	-	-	-			
指標3 (単位:率)	H17	30.1	26.7	32.1	25.8	32.6	24.9		24.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		-	-	-	-	-	-			
指標4 (単位:件)	H17	921	830	987	788	890	748		710	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		-	-	-	-	-	-			
指標5 (単位:件)	H17	92.6	83.4	94.2	79.2	73.9	75.2		71.4	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		-	-	-	-	-	-			

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.316で全119施策の中で30番目。
- 重要度は4.264で17番目である。
- 改善要望度は0.205で27番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④ 2 1	④ 2 1	
合計		12		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	自転車事故と高齢者の事故は、県内でも割合が高く、市民総ぐるみで取り組む必要がある。このため、安全・安心まちづくり推進協議会を中心に全市的な啓発活動等を実施するとともに、地域住民が日ごろから交通安全を身近なものとして取り組む意識づくりを図る必要がある。
解決策	各地域の安全・安心まちづくり推進協議会支部を中心に、自治会をはじめ地域の関係団体と連携し、地域に根ざした活動を通じ、安全で、安心して過ごすことができるまちづくり活動の推進に努める。また、交通安全教室の実施等により、児童・生徒や高齢者に対して交通事故を予防するための積極的な事業展開を行う。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向